情報提供資料
2024年1月

イーストスプリング アジアNOW!

インド出張報告

～ CHANGE INDIA / 進化するインド～

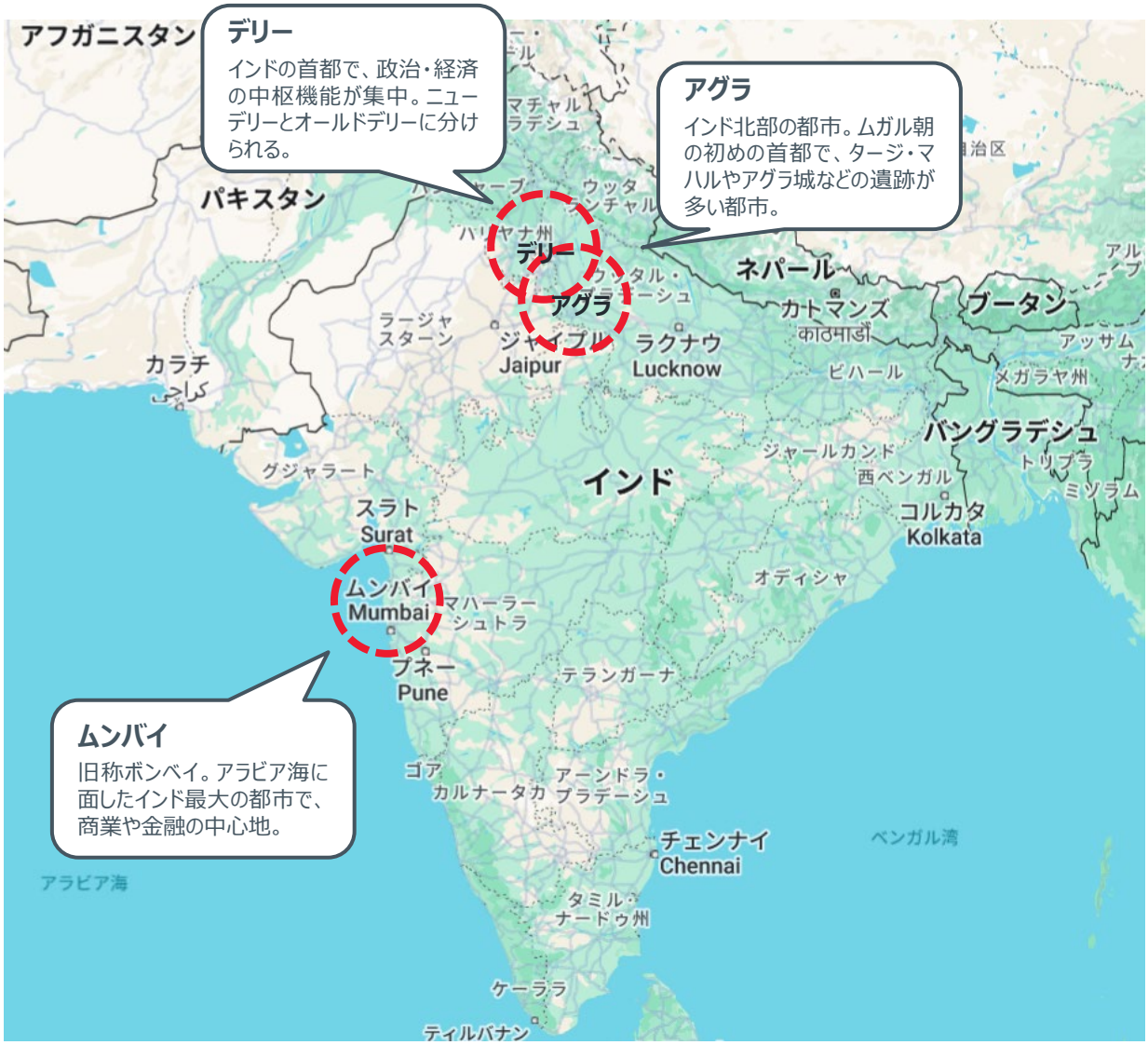
出所：写真は弊社社員撮影。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者　関東財務局長（金商）　第379号
加入協会　一般社団法人投資信託協会　一般社団法人日本投資顧問業協会

目次

1）写真で見る「インドの現地事情」
2）インド企業訪問①（BSE、ICICIAM）
3）インド企業訪問②（エートス、ｱﾎﾟﾛ･ﾎｽﾋﾟﾀﾙ･ｴﾝﾀｰﾌﾟﾗｲｽﾞ、DLF）



Google

の地域は今回の出張で訪問した地域。

インドの現地事情　～都市部のインフラ事情～

ムンバイの玄関口
チャトラパティ・シヴァージー国際空港

国際線（ターミナル2）は2014年オープン、東京ミッドタウンと同じ米国企業による近代的なデザイン。

道路建設が進むムンバイ
「Coastal Road」

ムンバイ南部と西部郊外の特に人口密度が高いエリアをつなぐ全長約29kmの湾岸道路。ムンバイの交通渋滞は世界でもトップクラス。渋滞緩和が期待され、2024年6月の完成に向け整備が進む。

近代的なデリーの地下鉄駅
清潔感のある駅と車内、改札には手荷物検査とボディチェックがあり、支払いはQRコード決済。

住友不動産による開発プロジェクト

ムンバイの新都心BKCにおける開発プロジェクトもスタート。隣はICICIAM（イーストスプリングのグループインド拠点）が入居するビル「ONE BKC」。

出所：現地情報や各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。写真は弊社社員撮影。
○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

eastspring investments

インドの現地事情　～プレミアム化とデジタル化による消費拡大～

リライアンスグループのプレミアムモールがオープン「ジオ・ワールド・プラザ」

ムンバイ最大級のプレミアムモール。ルイ・ヴィトン、グッチなどの世界的なハイブランドに加え日本の無印良品も出店。ムンバイには東京やシンガポールよりも多くのビリオネア（資産10億米ドル以上）が住むと言われる。

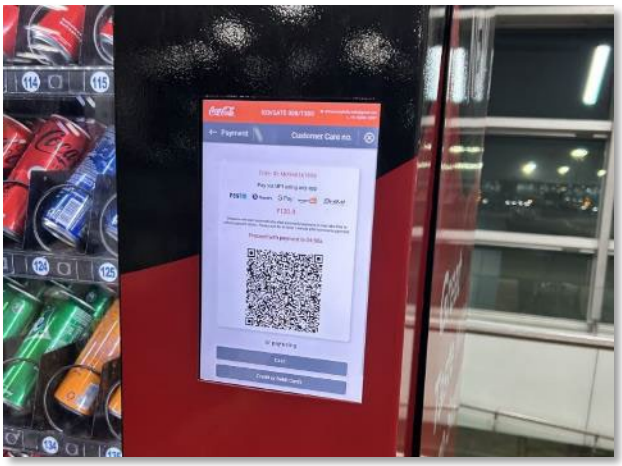
＜ご参考＞

建築費世界一
リライアンス・グループ会長、ムケシュ・アンバニ邸

総工費は10億米ドル以上とも言われ、個人の邸宅としては世界一と言われる。600人の使用人の他、プールや映画館などを備える。

デリー最大級の高級ショッピングモール「チャナキャ・モール」

2018年開業、高級ブランドが入居するデリー随一のおしゃれスポット。フロアにはカフェの他、アジア料理、日本料理、イタリアンなど世界各国の食事が楽しめるレストランも。世界の著名人も多く訪れる高級モール。



自動販売機はキャッシュレス決済のみ受付

デリーの空港の自動販売機。コインや紙幣を入れる場所は無く、購入方法はQRコード決済のみ。アプリを選択して手続きすると、即時に銀行口座から支払われる。

出所：現地情報や各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。写真は弊社社員撮影。
○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インドの現地事情　～インドのスラム街の姿～

アジア最大のスラム街
「ダラビ」

2008年の映画「スラムドッグ＄ミリオネア」の舞台として有名。約2.4平方キロメートルに約100万人が暮らすと言われる。経済活動が盛んであり、プラスチックのリサイクルや、革製品製造など、年間数千億円超の規模でビジネスが行われている。

キャッシュレス決済が拡大
「デジタル決済インフラ、UPI」

政府が提供するデジタル決済インフラ「UPI」を通じたQRコード決済が拡大。小売り取引に占めるUPI経由の決済は約75%。スラム街でも至るところでQRコード決済が可能。

再開発に揺れるダラビ

- ✓ ムンバイは、貧富の差が大きいインドの中でも特に顕著ですが、ダラビはカーストや社会的地位を比較的気にしない地域と言われています。1840年代にグジャラートから最初にこの地域に移住した人々が陶器を作って生活したのが始まりで、徐々にビジネスを拡大していきました。地方からダラビに出稼ぎに来る人も多い中、地価の上昇などから、ダラビでの生活コストは決して安くはないため、住居スペースに家を持てない人も多く、工場に寝泊まりしたり、ダラビの外に住む人たちもいます。
- ✓ そんなダラビで今、再開発計画が進められています。ダラビは旧中心街とムンバイ国際空港の中間に位置しており、開発の需要が大きい地域です。インド当局はこの場所を超高層ビルとショッピングセンターが立ち並ぶ高級居住地にする計画を進めており、ダラビの古い住居や工場を取り壊す代わりに、そこに住む人々に高層住居を提供する予定ですが、ダラビの住人の中には反対する人も多くいます。例えばプラスチック再生業に従事する人は、家が提供されても、工場を提供されるわけではありません。ムンバイという大都市に住む人々の生活が、大きな転機を迎えています。

ダラビの中でもエアコンが設置されたアパートも。

出所：現地情報や各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。写真は弊社社員撮影。
○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インドの現地事情　～インドの魅力的な建造物～

インドで最も有名な世界遺産
「タージ・マハル」

1653年完成、ムガル帝国妃ムムターズ・マハルを埋葬した墓。20年超の歳月をかけて建築されたイスラム建築の至宝。外壁の彫刻まで完璧な左右対称にこだわった構図。1983年に世界文化遺産に登録。

インド・ムンバイの鉄道駅
「チャトラパティ・シヴァージー・ターミナス駅」

旧名ヴィクトリア・ターミナス。ヴィクトリア朝のゴシック・リヴァイヴァル建築と、インドの伝統的建築が融合した豪華で壮麗なヴェネツィア・ゴシック建築様式。世界の美しい駅14選に選ばれた。2004年に世界文化遺産に登録。

完成から約100年、港町ムンバイの象徴
「インド門」

ヨーロッパから最も近いインドの玄関口として栄え、英国王夫妻の来印記念に建設、1924年に完成。タージ・マハル・ホテルの向かいにあり、ホテルの多くの部屋からインド門を見ることができる。

タタ・グループ創始者が創業
「タージ・マハル・ホテル」

ムンバイにあるインドを代表する高級ホテル。1903年開業、インド人建築家により西洋の新古典主義建築とインドの伝統の様式を混合して建設された。2008年に起こったムンバイ同時多発テロで占領され、最上階と屋根が一部消失。

出所：現地情報や各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。写真は弊社社員撮影。
○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

eastspring investments

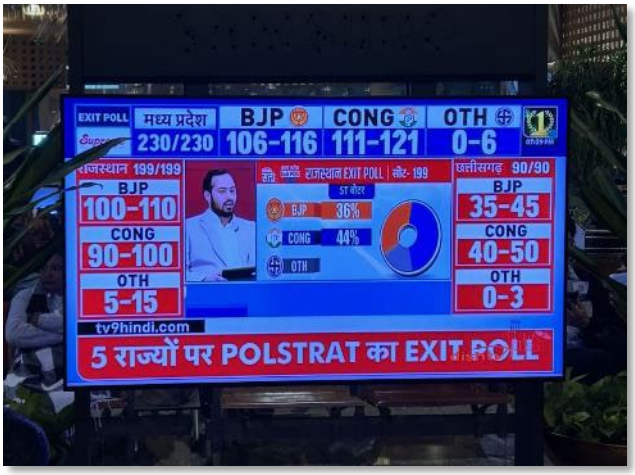
インドの現地事情　～インドでの生活～

庶民に親しまれる
グジャラート料理（菜食料理）

モディ首相が長く州首相を務めたグジャラート州は厳格な菜食主義を守るジャイナ教徒やヒンズー教徒も多いため、菜食料理が発達した地域です。乳製品と甘味とともにスパイシーな料理を楽しむことができます。

歌と踊りとお酒を楽しむ
「LORD of the DRINKS」

インドの若者に人気のバー。ボリウッド映画の主題歌から欧米のポップミュージックまで幅広いジャンルの音楽やダンスとともにお酒を楽しむことができるお店。インドは多言語国家であることから、歌と踊りを楽しむ文化がある。



地方選挙の状況を伝えるテレビ番組

2023年11月に、インドの5つの州で行われた地方選挙の状況を伝えるテレビ。12月3日に開票となり、モディ首相率いるBJP（インド人民党）は事前予想に反し、3州で過半数を獲得する結果となり、2024年の下院総選挙に向け追い風に。

インドの日常の足「オートリキシャ」

日常の移動手段として定着しているリキシャ（人力車が語源）。最寄り駅などからのラストワンマイルの中長距離移動などで活用されている。近年はEVのオートリキシャなどもすこしずつ増え始めている。

出所：現地情報や各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。写真は弊社社員撮影。
○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インドの現地事情　～インドでの生活～

人口14億人を感じるローカル列車

タージ・マハルのあるアグラの駅の列車の光景。有名な観光地付近の駅ということもあり、超満員の列車も。プラットフォームには多くの人でにぎわい活気のある雰囲気が漂う。

大気汚染が深刻なインド

インドの大気汚染は深刻でWHOが定めるPM2.5濃度のガイドラインを大きく上回る。特にニューデリーはインド国内でも高濃度で、iPhoneでも「とても悪い」の表示。一方で11月下旬のこの時期は比較的過ごしやすい気温。

インドで存在感を示す日本ブランド「MUJI -無印良品-」

2023年11月にオープンしたリライアンス・グループの新ショッピング・モールに出店した無印良品の店舗。インドでは最大規模の店舗となり、ハイブランドが立ち並ぶモールの中で存在感を示している。値段は日本語でも表記されているものの、現地で購入できる多くの商品は日本よりも高めのお値段。

世界各国の要人を迎えてきた「ITCマウリヤ ニューデリー ホテル」

国内複合企業であるITCが運営。デリー国際空港からのアクセスも良好。各国の要人を迎えてきた一流ホテルで、2023年9月インド開催のG20では、モディ首相が米バイデン大統領一行に当ホテルの400部屋を確保したとの報道も。

出所：現地情報や各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。写真は弊社社員撮影。
○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

ボンベイ（ムンバイ）証券取引所（BSE）
「拡大するインド株式市場」

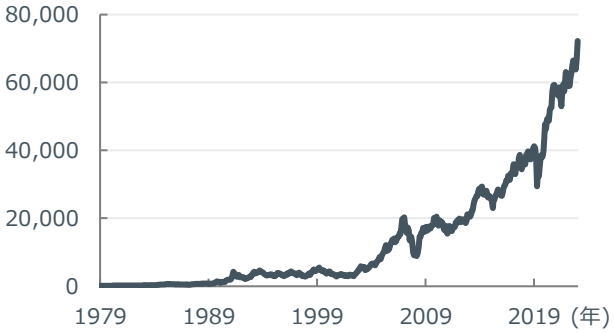
✓ BSEはSENSEX指数を算出。150年近い歴史を有するアジア最古の証券取引所で、時価総額は世界5位。高速かつ強靭なトレードシステムを有し、株式や通貨のデリバティブ取引なども拡大する他、スタートアップの育成にも注力する。

デジタル化で増えるインド国内投資家

❑ 過去10年、インド株式市場は堅調に推移したことに加え、デジタル化の拡大に伴って個人や企業の年金による株式市場への資金流入などから、現在では市場参加者は約1.4億人に達しています。

❑ インド株式市場は外国人投資家に対する規制から、例えば日本に比べても売買代金に占める外国人投資家比率はもともと低いものの、それでも3年前までは20%あり、価格変動の要因の一つでもありました。一方、足もとでは個人投資家が増えたことで外国人投資家比率が低下しました。例えば2022年はロシア・ウクライナ問題などによる世界的なリスクオフの流れの中で、インド株式市場においても外国人投資家の資金流出が見られました。一方で個人を中心とした国内投資家は大きく買い越しとなり、外国人投資家の売りを吸収し、インド株式市場は相対的に堅調な推移となりました。

SENSEX指数の長期推移（1979年末～2023年末、月次）



SENSEX指数の各節目の到達年

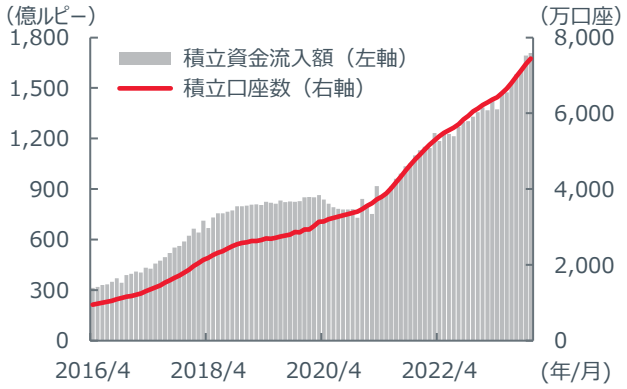
- 1,000ポイント　1990年
- 10,000ポイント　2006年
- 30,000ポイント　2015年
- 40,000ポイント　2019年
- 50,000ポイント　2021年
- 60,000ポイント　2022年
- 70,000ポイント　2023年

SIP（投信積立制度）を通じた資金流入が拡大

❑ 特にSIP*（投信積立制度）はインドで拡大を見せています。若年層の多いインドにとっては、金融リテラシーが低い個人も多く、少額から始めることができるSIPは金融リテラシーの高まりも期待されます。

インド国内の積立を通じた投信への流入額と口座数

（2016年4月～2023年11月、月次）



スタートアップ育成にも積極的

❑ インドでは25-35歳が人口の中心となっていることから、BSEは企業の育成を目的にスタートアップエコシステムを提供しています。スタートアップ企業にオフィススペースを提供する他、企業の育成サポートや資金調達機会を提供しています。インドのユニコーン企業数は既に米中に次ぐ世界3位となっており、ベンガルール（旧称：バンガロール）などでは、多くの若い企業が活躍しています。

市内でもひときわ目立つBSEオフィスビル。

出所：BSE、Bloomberg L.P.、Association of Mutual Funds in Indiaのデータ、各種報道等に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。写真は弊社社員撮影。※SENSEX指数は現地通貨ベース、プライスリターン。
○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

eastspring investments

ICICIAM
インドの成長をけん引する2大テーマ「消費」・「インフラ」

- ✓ ICICIAMはイーストスプリングが所属するグループのインド拠点。（インド最大級の民間銀行であるICICI銀行とイーストスプリング・インベストメンツの最終親会社との合弁会社。）
- ✓ 1993年設立、資産運用額約10兆円*を誇るインド最大級の運用会社。インドのムンバイを拠点とした最大規模の経験豊富な運用チーム。インド株式を専門とする株式調査アナリスト20名を含め、88名の運用プロフェッショナル*を擁する。

＜消費関連＞

ヘルスケア、ツーリズムなどに良好な見通し

- ❑ インドの消費活動は「プレミアム化」と「デジタル化」が後押ししており、特に足もとでヘルスケア、自動車（特にバイク）、ツーリズム、通信セクターを強気に見ています。選好する企業の特長は、①成長が長期にわたる企業、②市場シェアが拡大できる企業、③ビジネスモデルが強固な（競争力の高い）企業、④バリュエーションが適切な企業の4点です。
- ❑ 例えば、病院や薬局をチェーン展開するアポロホスピタルズはベッド数をどんどん増やしていますが、現在の人口を考えればまだまだ長期的な拡大余地があります。過去数年にわたり設備投資を行っており、病院、薬局ともに今後3年程度で投資の果実が実り更なるシェア拡大が見込まれます。また、ヘルスケアの面ではライフスタイルの変化も市場の追い風になっています。
- ❑ ツーリズムにおいてはインドのGDP成長の2倍の成長を遂げると予想されており、インドにおけるツーリズム関連消費額は他のBRICs諸国に比べてまだまだ低い現状にあります。「インディゴ」のブランドで展開するインターグローブアビエーション（LCC）は約3割のマーケットシェアを持ち、保有機の多くがエアバス中心で操縦の似ている機体であることから、トレーニングをしやすい体制を整えています。インド人は価格に敏感だと言われますが、同社はコスト構造に強みを持っており、80億米ドルのキャッシュを保有するなどバランスシートも健全です。

＜インフラ関連＞

マクロ要因と政策要因の双方で追い風

- ❑ 政府の予算拡大の通り、モディ政権はインフラ整備に相当重点を置いており、長期的にマクロ要因（企業のバランスシート改善、サプライチェーンの多様化など）と政策要因（インフラ整備、法人減税、インセンティブスキーム）の恩恵を受けます。
- ❑ 道路、航空、ガス、再生エネルギー、鉄道、海運、電力、通信の8つの主要分野の他に、防衛産業の再構築にも投資を行います。また、電子機器の製造においては外資企業の誘致に加えて国内製造業強化を目指しており、特に製造業向け補助金340億米ドルのうち、1/3を半導体産業に振り向けています。
- ❑ インフラ関連では特に不動産セクターに注目しています。インドの不動産価格はコロナ前から15%上昇していますが、「DLF Camellias」のようなラグジュアリーレジデンスが伸びをけん引していることなどからもわかる通り、特に大手企業が新たなプロジェクトを進めており、業界でのシェアを伸ばしています。インフラ開発が進むことで拡大する消費も多いことから、両テーマは長期で成長が期待できるテーマだと言えます。

＜スピーカーのご紹介＞

マナスヴィ・シャー
ｲﾝﾍﾞｽﾄﾒﾝﾄ・ｱﾅﾘｽﾄ
兼ﾌｧﾝﾄﾞ・ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ
（消費関連）

アキレシュ・バンダリ
ｼﾆｱｲﾝﾍﾞｽﾄﾒﾝﾄ・ｱﾅﾘｽﾄ
兼ﾌｧﾝﾄﾞ・ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ
（インフラ関連）

出所：ICICIAMの情報に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。*2023年6月末時点。約747億米ドル、1米ドル＝144.99円で換算。資産運用額は投資信託、投資助言、不動産および投資一任契約について。※銘柄概要および見通しは、当該銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、将来の値動きを示唆するものではありません。銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

eastspring investments

エートス（一般消費財・サービス流通・小売り）
消費のプレミアム化の恩恵を受けるプレミアムウォッチ販売

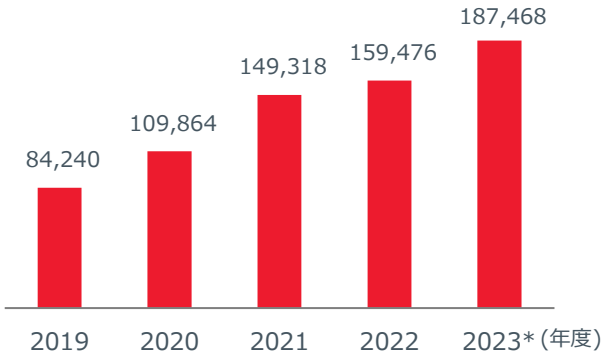
✓ エートスはインド最大の高級時計の小売業者で、店舗の他、ウェブサイト、SNSを通じてプレミアムウォッチを販売。2022年5月新規上場。オメガ、IWCなど、50以上のプレミアムブランドの正規販売店。サービスセンターを保有。

良好な販売実績でブランドの信頼を獲得

❑ インドのプレミアムウォッチの市場は年率15-20%で成長しています。同社は店舗とオンラインの両面でサービスを展開、高いリピート率を誇り、新しいメーカーやブランドの開拓にも取り組んでいます。ブランドの専用店舗も含め、大都市だけでなく、Tier1、2都市にも店舗を展開しており、良好な販売実績から、ブランドと好条件（販売個数に制約が無い、など）の契約を更新しています。また、顧客に対してロイヤリティ・プログラムを運営しており、300万人以上の会員を抱えています。

デリーの高級モールに店舗を構えるエートス。

時計1本あたりの同社の平均販売額（単位：ルピー）



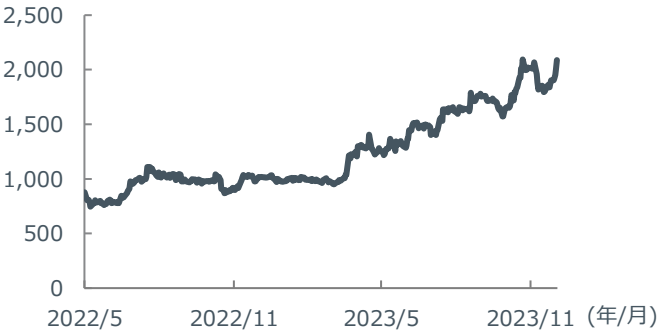
エートスのサービスセンターの様子。世界の時計ブランドが認める高い技術力を誇る。

世界が認めるサービスセンターを保有

❑ 同社は中古品の販売をブランドから承認されている珍しい会社です。中古品にも2年間の保証を提供し、中古品でありながら高い品質と価格の維持に貢献しています。自社で抱える修理・研究を行うサービスセンターはブランドから高い評価を受けており、ブランドにとっても高品質なサービス（修理等）が提供されることで、ブランド力の維持につながります。

❑ 中古品の市場シェアはまだ低いものの、インドで販売されているプレミアウォッチの約95%がスイス製（金額ベース）であり、プレミアムウォッチの需要が拡大する中で、中古品市場も高い成長が期待されます。

上場来の株価推移と特性値（単位：ルピー、2022年5月27日～2023年12月29日、特性値は2023年12月末時点）



時価総額	865 億円
予想PER	59.1 倍
予想EPS成長率（2023年度～25年度の年率）	＋30.7 %

出所：エートス、Bloomberg L.P.のデータ、各種報道等に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。写真は弊社社員撮影。※株価は日次、プライスリターン。※銘柄概要および見通しは、当該銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、将来の値動きを示唆するものではありません。銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。*2023年度は9月まで。
○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

eastspring investments

アポロ・ホスピタルズ・エンタープライズ（ヘルスケア機器・サービス）
インド最大の総合ヘルスケアシステムを提供

✓ アポロ・ホスピタルズ・エンタープライズは、1979年12月設立、病院、医療センター、薬局の運営・管理を行う。国内初の民間企業の病院として内外から高い評価を受ける。

インド最大の総合ヘルスケアシステムを提供

- ❑ 世界最大の医療マーケットであるインド最大の総合ヘルスケアシステムを提供。73の病院に延べ1万床のベッドを擁し、3,600の薬局、172のクリニック（検査・初期医療に対応）を傘下に収める医療グループです。世界13カ国に148の遠隔医療施設を展開。オンライン相談ポータル「ASK Apollo」と「Apollo Home Health」で医療サービスを提供しています。
- ❑ 医学研究でも群を抜き、健康保険サービス、医科大学、看護大学、病院経営大学、研究財団などを運営。インドで最も進んだ臓器移植施設を複数運営している他、近くインドで初めてとなる陽子線治療がんセンターも開設し、国内外から数百万人の患者の受け入れを見込んでいます。

同社の病院が提供する富裕層向けの個室。家族用のスペースなども提供。

インドで最高のロボット手術プログラムを提供

- ❑ インドは、世界水準の医療サービスを他国の10分の1の費用で提供できるため、メディカル・ツーリズムのニーズが高まっています。同社は120カ国以上から1億5,000万人以上の患者を受け入れ、11の施設に17台のロボット手術の施設を提供しています。2021年度時点で、1,300件以上のロボット手術を実施しており、インドで最高のロボット手術プログラムと評価されています。
- ❑ インドでは医療サービスの提供主体の70%は民間の医療機関であり、政府のヘルスケアへの支出は拡大傾向にあります。ヘルスケアへの支出拡大に伴い、携わる研究者も増加傾向にあることから、医療技術も着実に進歩が見られます。
- ❑ 同社は保険、薬局、診療所など、ヘルスケアに関するエコシステムの重要なサービスを提供しており、新たな医療サービスの最前線に立つ、最も総合的なヘルスケア・プロバイダーとしての存在感を高めています。
- ❑ これまでは感染症対策が重要な取り組みでしたが、今後は都市化が急速に進行する中でライフスタイルが多様化する中、成人病などに対するニーズが高まっており、既存のヘルスケア企業にとっての課題と言えます。

過去5年の株価推移と特性値（単位：ルピー）
（2018年12月末～2023年12月末、特性値は2023年12月末時点）

時価総額	1.4 兆円
予想PER	58.4 倍
予想EPS成長率（2023年度～25年度の年率）	＋35.0 %

出所：アポロ・ホスピタルズ・エンタープライズ、Bloomberg L.P.のデータ、各種報道等に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。写真は弊社社員撮影。※株価は日次、プライスリターン。 ※銘柄概要および見通しは、当該銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、将来の値動きを示唆するものではありません。銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

DLF（不動産管理・開発）
ラグジュアリーレジデンスが不動産市場をけん引

1946年設立、インド最大の上場不動産開発企業。土地の取得からプロジェクトの計画、実行、建設、マーケティングに至るまで、不動産開発全般を担う。オフィスビルや、高級集合住宅などを手掛ける。

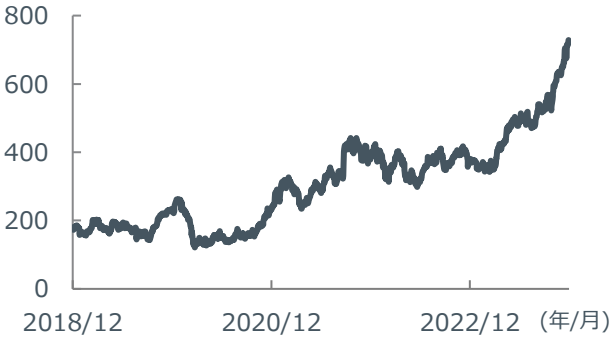
約9億円からの高級レジデンスプロジェクト

- ❑ インドの不動産市場においては、コロナ以前と比較して価格が上昇傾向にある中で、ラグジュアリーレジデンスが価格上昇をけん引しています。
- ❑ DLFの高級レジデンスプロジェクトである「DLF Camellias」は2022年の発売前から世界で最も高価なウェルビーイング施設としても注目されています。最先端の設備と建築物としての評価、広大な緑地と景観、2つのゴルフコース（インド初のプロゴルフアカデミーも提供）を誇る、国内で最も特徴的なラグジュアリーレジデンスです。38階建てのタワーが16棟、総戸数は429戸で、1戸の価格は625万米ドル（約9億円）～と高額であるにも拘わらず、価格は上昇傾向にあります。

グルグラム（旧称：グルガオン）に建設された高級レジデンス「DLF Camellias」

グルグラムに多くみられるDLF開発のオフィスビル。多国籍企業が多く入居している。

過去5年の株価推移と特性値（単位：ルピー）
（2018年12月末～2023年12月末、特性値は2023年12月末時点）



時価総額	3.0 兆円
予想PER	81.9 倍
予想EPS成長率（2023年度～25年度の年率）	+25.9 %

出所：DLF、 Bloomberg L.P.のデータ、各種報道等に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。写真は弊社社員撮影。※株価は日次、プライスリターン。※銘柄概要および見通しは、当該銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、将来の値動きを示唆するものではありません。銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。